

## 美術ワーキンググループの主な論点(案)

## 1. 博物館の管理運営方策の充実について

市民社会における博物館(美術館を含む。以下同じ。)の果たすべき役割やその重要性についての理解促進方策、新しい時代における博物館の国際戦略、高齢者・身体障害者に対するバリアフリー対策、児童生徒等に対する教育普及方策等の検討を行う。

併せて、市町村合併や指定管理者制度の導入、公益法人改革等、厳しい財政状況下における博物館の運営のあり方の検討を行う。

(論点例)

- 国としての博物館政策の構築
- 博物館の果たすべき役割やその重要性についての理解促進方策
- 博物館の国際戦略
- 高齢者・身体障害者に対するバリアフリー対策
- 児童生徒等に対する教育普及方策
- 厳しい財政状況下における博物館の運営のあり方

## 2. 美術品の鑑賞機会の充実及び美術作品制作への支援の在り方について

質の高い美術品を広く国民が鑑賞する機会の充実方策及び美術創造活動の活性化を推進し、優れた作品が生まれる環境を整備するため、美術作品制作への支援の在り方について検討を行う。

(論点例)

- 質の高い美術品を広く国民が鑑賞する機会の充実方策
- 質の高い国際的大規模展覧会に対する支援の促進
- 国際交流基金との連携の促進
- 美術作品制作への支援の在り方

### 3. アートマネジメント人材の育成について

美術分野におけるマネジメントのために必要な能力や要件を検討し、あわせてその人材育成の方策について検討する。

(論点例)

- 美術分野におけるマネジメントのために必要な能力や要件
- アートマネジメントに関する人材育成の方策

### 4. アーカイブについて

戦後美術史・文化史記述の上でも、美術関連資料のアーカイブは重要である。このため、分野ごとのアーカイブの現状を把握した上で、その必要性、定義、構築方法について検討する。

(論点例)

- 美術関連資料のアーカイブの必要性
- 美術関連資料のアーカイブ戦略の構築